

科目名	二級建築士 計画					
科目名(英)	Architectural Planning					
単位数	4単位	時間数	68時間	担当者	森行 美枝	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計事務所にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	学科 I で出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。
○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市においての役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科 I 計画					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1章 気候 (屋外の気候、屋内の環境、空気汚染、換気)			初回に入る前に 全体カリキュラムを確認する。	
	2	第2章 伝熱・結露			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	3	第1章～第2章までの確認テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	4	第3章 日照・日射・採光			授業に入る前に 3章～6章カリキュラムを確認する。	
	5	第4章 音響 (音の性質、遮音、音響計画)			授業終了この確認問題は専用のファイルで保管。	
	6	第5章 色彩 (概要、表色系)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	7	第5章 色彩 (色彩と心理、色彩による環境調整)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	8	第6章 環境工学融合 (用語)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	9	第6章 環境工学融合 (単位)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	10	第3章～第6章 確認テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	11	第1章～第6章実力テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。適宜 質問カード記入提出。	
	12	第7章 空気調和設備 1(空気調和設備の種類)			授業に入る前に 7章～12章カリキュラムを確認する。	
	13	第7章 空気調和設備 2(空気調和設備計画)			授業終了この確認問題は専用のファイルで保管。	
	14	第8章 給水設備(給水設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	15	第8章 給水設備(給湯設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	16	第9章 排水衛生設備(排水設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	17	第9章 排水衛生設備(排水設備)衛生設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	18	第10章 電気・照明設備(電気設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	19	第10章 電気・照明設備(証明設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	20	第11章 消火・防災設備(消火設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。	
	21	第11章 消火・防災設備(防災設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
22	第12章 設備融合(省エネルギー・環境保全)			前回までの復習を確認問題で実施する。		

	23	第12章 設備融合(用語)	今回の確認問題をファイルし、次までに復習。				
	24	第7章～12章確認テスト	テスト後必ず解説を読み、復習する。				
	25	第13章建築史 (日本建築史西洋建築史、近代・現代建築史)	13章～18章カリキュラム確認する。				
	26	第14章 計画一般(面積・規模、寸法設計、屋根、開口部、仕上げ、建築精算、防火、防災計画)	今回の確認問題をファイルし、次までに復習。				
	27	第15章 住宅 (独立住宅)	前回までの復習を確認問題で実施する。				
	28	第15章 住宅 (集合住宅)	今回の確認問題をファイルし、次までに復習。				
	29	第16章商業建築 (店舗、事務所、宿泊施設、劇場、映画館、工場、倉庫)	前回までの復習を確認問題で実施する。				
	30	第17章公共建築 (学校、幼稚園、保育所、図書館、美術、)	今回の確認問題をファイルし、次までに復習。				
	31	第17章 地域計画(博物館、医療施設、その他の公共施設)	前回までの復習を確認問題で実施する。				
	32	第18章 地域計画 (住宅計画、都市問題・都市理論)	今回の確認問題をファイルし、次までに復習。				
	33	第13章～18章確認テスト	テスト後必ず解説を読み、復習する。				
	34	第13章～第18章実力テスト	今まで配布した、問題、解説ファイル確認し、見直す。質問カード提出より、情報共有する。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	実力試験	○	○				60%
履修上の注意	出席が授業回数の2/3に満たない場合は、単位を認めない。						

科目名	二級建築士 法規					
科目名(英)	Building regulations					
単位数	4単位	時間数	68時間	担当者	表 博紀	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	指定確認検査機関にて意匠担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				法令集の使用方法の手順を守れている。
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正答を導き出せる
	○	○				法令集を使用して、各章の答えを導くことができる。
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅱ法規					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1章 総則 用語の定義				
	2	総則 面積・高さ等の算定方法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	総則 確認済証の交付、手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第2章 一般構造等 一般構造、建築設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 構造強度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	構造関係規定の構造、構造方法(仕様規定)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	構造計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	確認テスト			今までの復習プリントで復習	
	9	実力テスト			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第4章 防火関係 防火構造等、耐火構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	法22条区域の建築物、耐火建築物としなければならない特殊建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	防火地域、準防火地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	防火区画等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	内装制限			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	避難施設等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	16	確認テスト			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	17	実力テスト			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	18	第5章 都市計画区域の制限			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	19	道路壁面戦			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	20	用途地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	21	容積率 建蔽率			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	22	敷地面積・低層住居専用地域の制限			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	

	23	高さ制限	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	24	地区、街区等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	25	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	26	実力テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	27	第6章 雑則等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	28	建築協定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	29	建築審査会、罰則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	30	確認テスト	全範囲を今までのプリントで復習				
	31	実力テスト	全範囲を今までのプリントで復習				
	32	全範囲の模擬試験	全範囲を今までのプリントで復習				
	33	予想問題実施1回目	全範囲を今までのプリントで復習				
	34	総復習問題 試験諸注意 質疑応答	試験終了後、自己採点会実施 2次試験の説明				
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
確認テスト		○	○				30%
実力試験		○	○				70%
履修上の注意	出席が授業回数の2/3に満たない場合は、単位を認めない						

科目名	二級建築士 構造					
科目名(英)	Building construction					
単位数	4単位	時間数	64時間	担当者	古賀 俊光	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計事務所にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 等内容を知ること、2級建築士レベルの知識を身につける。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				構造力学に必要な基礎数学が解ける。(中学程度の基礎数学力)
	○	○				不静定構造物の算出ができる
	○	○				木造構造の各部の名称や特徴を説明できる。
	○	○				コンクリート構造の各部の名称や特徴を説明できる。
	○	○				鉄骨構造の各部の名称や特徴を説明できる。
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅲ構造					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	生活の中で構造について、建築士試験とは。			テキストにおいて予習する	
	2	第1章 構造物と力 反力、単純梁、方持ち梁の計算			構造力学に必要な基礎数学を予習する	
	3	第2章 静定構造物の応力 3ヒンジラーメン、静定構造物の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第3章 特定トラスの応力 トラス構造種類や特徴			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第4章 断面の性質			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第5章 応力度と許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第6章 変形と不静定構造物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	確認テスト			今までの復習プリントで復習	
	9	第7章 荷重・外力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第8章 地盤と基礎構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第9章 木構造 木質構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	確認テスト			今までの復習プリントで復習	
	13	第10章 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造とは			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第10章 鉄筋コンクリート構造 RC造の材料			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第10章 鉄筋コンクリート構造 スラブ 耐震壁			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	16	第10章 鉄筋コンクリート構造 断面算定			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	17	第11章 鉄骨構造 鉄骨構造の概要			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	18	第11章 鉄骨構造 トラス構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	19	第11章 鉄骨構造 耐火被覆 及び錆止め			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	20	第12章 その他の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	21	確認テスト			今までの復習プリントで復習	
22	第13章 構造設計 木造構造の耐力壁の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		

	23	第13章 構造設計 壁式構の耐力壁配置計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	24	第13章 構造設計 鉄骨造構造計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	25	第13章 構造設計 ラーメン構造の柱配計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	26	第14章 建築材料 構造用材料 木材、金属、コンクリート	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	27	第14章 建築材料 内装材料 非金属材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	28	第14章 建築材料 内装材料 石材、ガラス、左官材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	29	第15章 建築材料 プラスチック	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	30	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	31	模擬試験	本番を想定 終了後答え合わせ。				
	32	本試験後採点及び復習	2次試験に備える				
評価方法	(1)模擬試験を実施する。※60%以上取得すること (2)確認テスト (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				30%
	2級建築士 学科本試験					○	10%
履修上の注意	出席が授業回数の2/3に満たない場合は、単位を認めない						

科目名	二級建築士 施工					
科目名(英)	Building Construction					
単位数	4単位	時間数	64時間	担当者	古賀 弘毅	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計事務所にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	学科IVで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				工事契約における重要事項と留意事項を説明することができる
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける
	○	○				積算に関する知識を試す、過去の建築士問題が解ける。
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科IV施工					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1章 工事契約1			第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく	
	2	第1章 工事契約2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第2章 工事監理・施工業務			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第2章 工事監理・施工業務			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	確認テスト			確認テストと解説を見直し復習する	
	9	第5章 土工事・基礎地業工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第5章 土工事・基礎地業工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第6章 鉄筋コンクリート工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第6章 鉄筋コンクリート工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第7章 鉄骨工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第7章 鉄骨工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第8章 コンクリートブロック工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	16	第8章 コンクリートブロック工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	17	第9章 木工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	18	第9章 木工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	19	確認テスト			確認テストと解説を見直し復習する	
	20	第10章 防水・屋根工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	21	第10章 防水・屋根工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
22	第11章 左官工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		

	23	第11章 左官工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	24	第12章 タイル・張石工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	25	確認テスト	確認テストと解説を見直し復習する				
	26	第13章 塗装工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	27	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	28	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	29	確認テスト	確認テストと解説を見直し復習する				
	30	第18章 用語・機械 第19章積算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31	第18章 用語・機械 第19章積算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
32	模擬試験	今までの内容を復習する					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	実力試験	○	○				60%
履修上の注意	出席が授業回数の2/3に満たない場合は、単位を認めない						

科目名	二級建築士学科演習					
科目名(英)	Architectural Planning					
単位数	10単位	時間数	164時間	担当者	森行 美枝	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計事務所にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	二級建築士主要4科目において、7月の学科試験に向けて演習問題を解き、試験合格レベルの実践的な力をつける。					
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				2級建築士(計画)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(法規)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(構造)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(施工)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○			○	全科目総合得点60点以上を目指す(※各学科25点満点、全科目合計100点満点)
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	学科Ⅰ(計画) 第1章 気候			各授業項目ごとの過去問予習	
	2	学科Ⅰ(計画) 第2章 伝熱			各授業項目ごとの過去問予習	
	3	学科Ⅰ(計画) 第2章 結露			各授業項目ごとの過去問予習	
	4	学科Ⅱ(法規) 第1章 総則 用語の定義 面積			各授業項目ごとの過去問予習	
	5	学科Ⅱ(法規) 第1章 総則 高さ等の算定方法 確認済			各授業項目ごとの過去問予習	
	6	学科Ⅲ(構造) 構造物と力			各授業項目ごとの過去問予習	
	7	学科Ⅲ(構造) 応力 片持梁の応力			各授業項目ごとの過去問予習	
	8	学科Ⅲ(構造) 単純梁の応力			各授業項目ごとの過去問予習	
	9	学科Ⅲ(構造) 静定ラーメンの応力			各授業項目ごとの過去問予習	
	10	学科Ⅳ(施工) 第1章 工事契約			各授業項目ごとの過去問予習	
	11	学科Ⅳ(施工) 第2章 工事監理、施工業務 ネットワーク			各授業項目ごとの過去問予習	
	12	模擬試験			模擬試験終了後、見直し学習	
	13	学科Ⅰ(計画) 第3章 日照、日射・採光			各授業項目ごとの過去問予習	
	14	学科Ⅰ(計画) 第4章 音響			各授業項目ごとの過去問予習	
	15	学科Ⅰ(計画) 第5章 色彩			各授業項目ごとの過去問予習	
	16	学科Ⅰ(計画) 第6章 環境工学融合			各授業項目ごとの過去問予習	
	17	学科Ⅱ(法規) 第1章 手続き【中間検査等】			各授業項目ごとの過去問予習	
	18	学科Ⅱ(法規) 第2章 一般構造 敷地の衛生、採光			各授業項目ごとの過去問予習	
	19	学科Ⅱ(法規) 第2章 石綿規制・シックハウス対策			各授業項目ごとの過去問予習	
	20	学科Ⅱ(法規) 第2章 居室の天井・床の高さ、便所			各授業項目ごとの過去問予習	
	21	学科Ⅱ(法規) 第3章 建築設備			各授業項目ごとの過去問予習	
	22	学科Ⅲ(構造) 第2章 単純梁の応力			各授業項目ごとの過去問予習	

授業計画	23	学科Ⅲ(構造) 第2章 静定ラーメンの応力	各授業項目ごとの過去問予習
	24	学科Ⅲ(構造) 第3章 特定トラスの応力	各授業項目ごとの過去問予習
	25	学科Ⅳ(施工) 第3章 地盤調査・測量	各授業項目ごとの過去問予習
	26	学科Ⅳ(施工) 第4章 架設工事	各授業項目ごとの過去問予習
	27	学科Ⅳ(施工) 第5章 土工事・基礎事業工事	各授業項目ごとの過去問予習
	28	学科Ⅳ(施工) 第5章 基礎事業工事	各授業項目ごとの過去問予習
	29	模擬試験	模擬試験終了後、見直し学習
	30	学科Ⅰ(計画) 第7章 空気調和設備	各授業項目ごとの過去問予習
	31	学科Ⅰ(計画) 第8章 給水設備	各授業項目ごとの過去問予習
	32	学科Ⅰ(計画) 第9章 排水衛生設備	各授業項目ごとの過去問予習
	33	学科Ⅱ(法規) 第3章 構造強度	各授業項目ごとの過去問予習
	34	学科Ⅱ(法規) 第4章 防火構造等	各授業項目ごとの過去問予習
	35	学科Ⅱ(法規) 第4章 法22条区域内の建築物	各授業項目ごとの過去問予習
	36	学科Ⅲ(構造) 第4章 断面の性質	各授業項目ごとの過去問予習
	37	学科Ⅲ(構造) 第5章 応力度と許容応力度	各授業項目ごとの過去問予習
	38	学科Ⅲ(構造) 第6章 変形と不静定構造物	各授業項目ごとの過去問予習
	39	学科Ⅳ(施工) 第5章 鉄筋コンクリート工事	各授業項目ごとの過去問予習
	40	確認テスト	確認試験終了後、見直し学習
	41	学科Ⅰ(計画) 第10章 電気設備	各授業項目ごとの過去問予習
	42	学科Ⅰ(計画) 第11章 消火、防災設備	各授業項目ごとの過去問予習
	43	学科Ⅰ(計画) 第12章 設備融合	各授業項目ごとの過去問予習
	44	学科Ⅱ(法規) 第4章 防火区画・間仕切壁	各授業項目ごとの過去問予習
	45	学科Ⅱ(法規) 第4章 内装制限等	各授業項目ごとの過去問予習
	46	学科Ⅱ(法規) 第4章 避難施設	各授業項目ごとの過去問予習
	47	学科Ⅱ(法規) 第4章 排煙設備	各授業項目ごとの過去問予習
	48	学科Ⅲ(構造) 第7章 荷重と外力	各授業項目ごとの過去問予習
	49	学科Ⅲ(構造) 第8章 地盤と基礎構造	各授業項目ごとの過去問予習
	50	学科Ⅳ(施工) 第7章 鉄骨工事	各授業項目ごとの過去問予習
	51	学科Ⅳ(施工) 第8章 コンクリートブロック工事	各授業項目ごとの過去問予習
	52	学科Ⅳ(施工) 第9章 木工事	各授業項目ごとの過去問予習
	53	模擬試験	模擬試験終了後、見直し学習
	54	学科Ⅰ(計画) 第13章 建築史	各授業項目ごとの過去問予習
55	学科Ⅰ(計画) 第14章 計画一般	各授業項目ごとの過去問予習	
56	学科Ⅰ(計画) 第15章 住宅	各授業項目ごとの過去問予習	
57	学科Ⅱ(法規) 第5章 都市計画等の制限 道路、壁面線	各授業項目ごとの過去問予習	
58	学科Ⅱ(法規) 第5章 都市計画等の制限 用途地域	各授業項目ごとの過去問予習	
59	学科Ⅲ(構造) 第9章 木構造	各授業項目ごとの過去問予習	
60	学科Ⅳ(施工) 第10章 防水・屋根工事	各授業項目ごとの過去問予習	
61	学科Ⅳ(施工) 第11章 左官工事	各授業項目ごとの過去問予習	
62	模擬試験	模擬試験終了後、見直し学習	

	63	学科Ⅰ(計画) 第16章 商業建築	各授業項目ごとの過去問予習				
	64	学科Ⅰ(計画) 第17章 公共建築	各授業項目ごとの過去問予習				
	65	学科Ⅰ(計画) 第18章 地域契約	各授業項目ごとの過去問予習				
	66	学科Ⅰ(計画) 第19章 各論融合	各授業項目ごとの過去問予習				
	67	学科Ⅱ(法規) 第5章 容積率	各授業項目ごとの過去問予習				
	68	学科Ⅱ(法規) 第5章 建ぺい率	各授業項目ごとの過去問予習				
	69	学科Ⅱ(法規) 第5章 高さ制限	各授業項目ごとの過去問予習				
	70	学科Ⅲ(構造) 第10章 鉄筋コンクリート構造	各授業項目ごとの過去問予習				
	71	学科Ⅳ(施工) 第14章 建具・ガラス工事	各授業項目ごとの過去問予習				
	72	学科Ⅳ(施工) 第15章 内装・断熱工事	各授業項目ごとの過去問予習				
	73	学科Ⅳ(施工) 第16章 ユニット工事、第17章 設備工事	各授業項目ごとの過去問予習				
	74	学科Ⅳ(施工) 第18章 用語・機械、積算	各授業項目ごとの過去問予習				
	75	学科Ⅱ(法規) 第5章 日影規制	各授業項目ごとの過去問予習				
	76	学科Ⅱ(法規) 第6章 バリアフリー法	各授業項目ごとの過去問予習				
	77	学科Ⅱ(法規) 第6章 耐震改修促進法	各授業項目ごとの過去問予習				
	78	学科Ⅱ(法規) 第7章 建築士法・都市計画法	各授業項目ごとの過去問予習				
	79	学科Ⅲ(構造) 第11章 鉄骨構造・構造設計	各授業項目ごとの過去問予習				
	80	学科Ⅲ(構造) 第11章 建築材料	各授業項目ごとの過去問予習				
	81	確認テスト	確認試験終了後、見直し学習				
	82	総復習 本試験説明、質疑応答	弱点チェック表で、点数が低い問題を復習する。				
評価方法	(1)模擬試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること(2)確認テストを実施する (3)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				30%
	2級建築士学科本試験	○	○			○	10%
履修上の注意	原則、学科本試験受験を単位付与条件とする						